



「京丹波に春が来る」  
広報委員 永井吉幸 画

# Kyo

京丹波町農業委員会だより

たんば

Vol.34

令和8年3月発行

発行/京丹波町農業委員会

編集/京丹波町農業委員会広報部会

〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生蒲生野 487 番地 1 TEL 0771(82)3822 FAX 0771(82)2700

## 京丹波町農業委員会からの

ここで皆さんに...



スキー場にだけ雪が降ってほしいと願っている広報部長です(笑)...

# おしらせ...



農業委員会事務局  
山田和志

京丹波町農業従事者の声や農業政策への要望を盛り込んだ意見書を、畠中源一町長に提出しました。この意見書は農業委員会の農政部会が中心となり取りまとめを行っているもので、提出には山田会長、職務代理、農政部会長および副会長が同席しました。内容は担い手への農地集約化や有害鳥獣対策や肥料・燃料費の高騰対策など多岐に渡り、委員それぞれが町長に思いを伝えました。



令和8年2月13日(金)  
京丹波町役場 応接室にて

## 「意見書を提出」しました。

農業委員会事務局2人からの

## ホットな話題...

農地法にかかる各種申請手続きに必要な書類は、農業委員会ホームページからダウンロードが可能です。「農地を売買したい」「農地を住宅や駐車場にしたい」「農地を相続した」等々、ご不明な点は遠慮せず農業委員会事務局にご相談ください。分かりやすく説明しますよ。

Come on 農業委員会!!



ダウンロードはコチラ



何でも聞いてください



農業委員会事務局  
荻野雅則

## 「申請書」はHPからダウンロード出来ます。

## 編集耕記 (へんしゅーこーき)



「デザイン会社や出版社に頼らず、自分たちの手で広報誌を作ってみよう」という思いで広報誌を作り始めて早五年が過ぎた。最初は出来上がっただけで大満足で、感傷に浸った記憶がある。時は流れ、今やデザイン会社や出版社に頼らずとも、AI(人工知能)を使って文章や記事が簡単に作成できる時代になった。そんな時代において広報委員六名の「おっさん」達が、あでもない、こでもないという議論しながら作る広報誌の意義は何なのか? 六名の「おっさん」達は、高いハードルは飛び越えられない。しかし低いハードルでも無事飛び越えられたとき、AIには到底真似出来ないという嬉しみの笑顔を見せるのである。それでいいんじゃないか?..

広報部会長 宇野栄晃

ぜひ...  
広報誌の感想をお聞かせください。

↓  
Googleフォームへ



# 農業はアイデアだ!!

## 白ネギの簡易土寄せ栽培挑戦記

昨年の5月から下記のような白ネギの簡易土寄せ栽培に挑戦しうまく作れました。あなたも挑戦してみてください。

200穴セルトレーに市販の種まき培土を入れて、タキイ種苗のホワイトスター種を5月中旬に1箇所2粒播種しました。トレーの下に更に水稻育苗箱に培土を入れて重ねて置くことで、健苗を育てることが出来ました。(図1)

6月末に本畑に深溝を切って、15cm程度に伸びた苗を、黒豆の定植に使っている「なかよしくん」を使用して定植しました。これは株間7cm位になるので、手植えで3cm感覚ぐらいで植えた方が良いかもしれません。

次に除草を兼ねて1回目の土寄せをしました。

更に畝の両横を除草し土寄せをしました。(図2)

次からは畝幅が狭くて寄せる土が無くなってしまいました。

そこで、思いついたのがウドの軟白栽培(2月から5月使用)に使っていたコンパネ(45cmに縦て割あひ長さ180cm)が余っていたのでネギを挟み、隙間に籾殻を入れてみました。(図3)

すると見事な白ネギが出来ました。(写真)ウドの軟白栽培の応用でもありました。

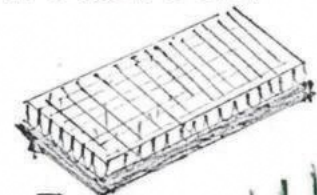


図1

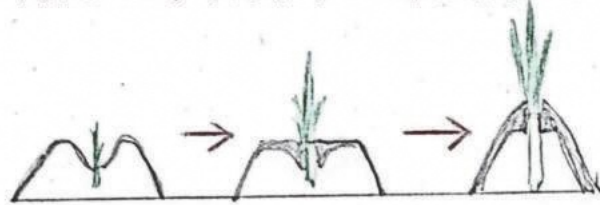


図2

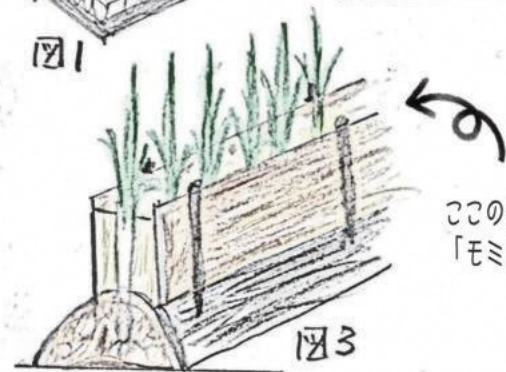


図3

このすき間に「モミガラ」を入れる



広報委員 清水淳之助

# 今回の 広報誌の 構成は...

早速ページを  
めくってみよう  
1ページ使い切り!!



広報部会長 宇野栄晃

みなさんこんにちは。広報部会長の宇野栄晃です。京丹波町農業委員会日より「Kyo かんぱ」は、執筆・デザイン・編集作業を6名の広報委員が自分たちの力で全て行っています。今回は少し趣向を変えて、広報部員6名それぞれが1ページ分を使い切る形で記事を書いてみました。記事の内容は…

- ・ 農業に関すること
  - ・ 趣味に関すること
  - ・ 農業委員として日頃感じていること
  - ・ 日常で心がけていること
- 等々

何でもOKとしております。それぞれのページは広報委員が執筆した原文を(ほぼ)そのまま掲載しておりますので、味わい深くリアルな内容となっております。農業委員として日々の業務を行いながら、様々な思いにふける「農業委員の日常」をお楽しみください。ゆっくりしてってね。

# 広報委員村上影次のページ 最近思うこと



広報委員 村上影次

## スズメがいない！

「最近スズメがいなくなった。」そんな話を耳にした。そう言えばタニシもドジョウもそうだ。大量の農薬と化学肥料で徹底的に省力・大規模化され、格安で輸入される外国産の農産物に対抗するためには、薬品に厳しい我が国でさえ一定の農薬と大規模化に頼らざるを得ない。そして片田舎の零細農家は価格競争に押し出され、高齢者が赤字を覚悟で小さな農地を細々と耕している。そんな状況に後継者やがては耕作を断念し農地が放棄される現状も明日は我が身。誰も責めることはできない。

農業委員会で4条・5条申請を承認するたびに町の農地が一つずつ消えていく。日本の食料自給率の低さを嘆きながらもかつての美田からスズメもいなくなり、荒れ果てて行く様子を、なす術もなくただ眺めている自分にジレンマを覚えているのは私だけなのだろうか。ともあれ、農業委員の一人として出来ることが何かあるはず。あれこれ模索しながらあと一年の任期、頑張ってみよう。

### 気になること・・・

- ・日本の農業従事者数 2000年 240万人 → 2025年 90万人
- ・食料自給率 38%(カロリーベース)
- ・年間食品ロス 464万トン
- ・世界の飢餓人口 7億3300万人。これを尻目に  
大食い競争を「フードファイト」と称して興じる日本のTV番組
- ・せっかく上がりかけた米価、備蓄米の放出で5kg 2千円に抑え込もうとする動き・・・2千円の根拠は？

## ゴルフ編

今年の初打ちに行ってきたぞ



広報委員 藤井保

2月5日 久しぶりにいい天気になったので、いつものメンバーで西紀カントリーに出かけた。今年のはじめてのエントリーでした。ゴルフを始めて30年以上、なかなかうまくならないプレーヤーです。ゴルフとは、目標に開けられた穴に、いかに少ない打数で入れるかを争うゲームです。ここでゴルフのルールについて簡単に説明します。



↑「あともう少し」が寄らない。私の人間関係とよく似ている…?

コースは1～18番の18ホールで構成され、1～9番ホールをアウト・コース(クラブハウスを出て行く)、10～18番をイン・コース(クラブハウスに戻る)という動きから来ています。コースは距離により3種類に分けられており…

- ロング・ホール…  
(距離が471ヤード以上で、基準打数は5、18ホール中4ホール有)
- ミドル・ホール…  
(距離が251～470ヤードで基準打数は4、18ホール中10ホール有)
- ショート・ホール…  
(距離が250ヤード以下で基準打数は3、18ホール中4ホール有)

となっている。他のスポーツなら審判員がいて、プレーの一部始終を見守り判定を下しているが、ゴルフは違う。ゴルフはプレーヤーひとりひとりが審判員で、自分自身が正しく判断・処置しなければならない。そこで「ゴルフは紳士のスポーツ」と言われるやえんである。

# 休日の過ごし方

広報委員 藤井保のページ

## 農業編

「エダマメの寝かせ植え」をやってみた

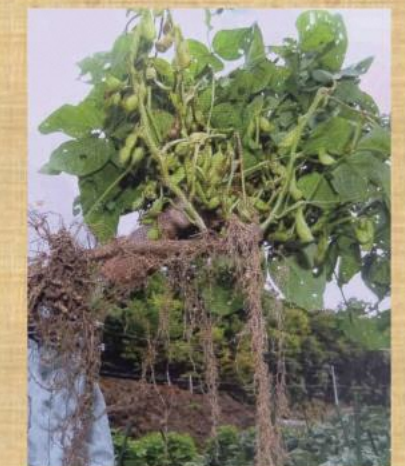
豆類は元々根が浅く張る植物で、背丈が伸びやすく倒れやすい欠点がある。その欠点を補うためには、茎から出る根っこ(不定根)をなるべくたくさん出して、根張りを良くすることが大切である。その不定根をたくさん出す方法の一つとして「寝かせ植え」というテクニックがあることを知り、実際にやってみました。



↑ 苗を20～30センチのジョロ苗に育てる。これが大切。



↑ 初生葉の下まで寝かせて植える。竹べらを斜めに深く差し込んで、土を持ち上げるようにして苗を挿入するとうまくいく。



↑ 収穫時の根の様子。斜めの部分から根っこ(不定根)が多く出ている。この方法は土寄せが不要だけでなく、収穫量も増えるメリットがある。

# 熱中していること



広報委員 永井吉幸

## 「射裡観徳」

私の家には古い弓と矢があります。それは江戸時代の物で弓術をしていたようです。その弓の歴史を知るために、丹波にある弓道場を訪れたのですが、いつしか3年が過ぎ、日本弓道連盟から参段をいただくようになりました。狩猟や戦で使われていた弓術から、現在の至誠礼節を重んじる弓道になった今では、対面では人と争わず、28m先にある36cmの的に矢を射ります。静かな空間で「正射必中」だけを求め、日々お稽古をしています。アーチェリーに似ていますが、和弓は2m以上あり上から3分の2辺りを持ちます。標準器は無く、矢を持つ右手は顔より後ろまで引き絞るので、体の縦横十字を整えていくしかありません。的が28m先にあるので、5円玉を的に向けるとその穴に的が入ってしまう距離なので狙ってもなかなか命中しませんが、的中は

真・善・美を追求し「正射必中」を心掛ける事を目指しています。自分の射を通して、弓道に向かう姿を見てもらう意識を持ち続けていきたいと思っています。



↑弓道場で、「正射必中」をこころがけ、28m先にある的に全神経を集中する。

## 「表紙の絵」

私は絵を描くのが大好きです。今回の表紙では「春」というテーマを頂きましたので、春の花である「梅」を描いてみました。



# 京丹波中山 食害物語



広報委員 藤田光男

みなさんこんにちは。今回は京丹波町中山における黒大豆の食害について、私の経験に基づいてその傾向と対策をお話したいと思います。

## 令和6年度・・・約8反の作付（電気柵は設置済）

6月～7月

葉っぱの約2割をうさぎに食べられる



葉っぱの約7割を鹿に食べられる



夏までに合わせて9割相当の被害となる。残った1割相当を最後の望みをかけて育成！

10月

収穫間近に今度は猿の食害



結局ほぼ全滅！収穫ほぼ0！

来年も一やめよーか！

「やってられへん！」の声あり

## 令和7年度・・・約8反の作付（見回りと電柵強化し食害に立ち向かう）

鹿対策 電柵にかぶせ網設置 防獣ライト 35箇所設置



太陽光発電、  
夜間赤青イルミネーション

6月 うさぎ食害は2割くらいある。しかし対策が困難。鹿食害はほぼ0（防獣ライトの効果？）

10月 猿の食害 若干あり

11月 収穫量約550kg（反収約90kg）まーまーの出来。来年も何とか頑張れるかな！